

## 船舶事故調査報告書

平成29年4月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |  |
|-------------|--|
| 事故種類        | 衝突（波除堤）  |
| 発生日時        | 平成28年7月31日 00時10分ごろ  |
| 発生場所        | 鳥取県鳥取市鳥取港<br>鳥取港灯台から真方位150° 510m付近<br>（概位 北緯35° 32.3′ 東経134° 11.2′）  |
| 事故の概要       | 遊漁船清徳丸は、南進中、波除堤に衝突した。  |
| 事故調査の経過     | 平成28年8月29日、主管調査官（広島事務所）を指名<br>原因関係者から意見聴取実施済   |
| 事実情報        |  |
| 船種船名、総トン数   | 遊漁船 清徳丸、7.66トン   |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 272-17258鳥取、個人所有   |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、一級小型・特殊・特定  |
| 負傷者         | なし   |
| 損傷          | 本船 船首部に破口<br>波除堤 先端に設置されている標識の支柱曲損   |
| 気象・海象       | 気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 2～3、視界 良好<br>海象：海上 平穏   |
| 事故の経過       | <p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、釣り客10人を乗せ、鳥取港沖での遊漁を終え、同港への帰途についた。</p> <p>船長は、鳥取港内を、手動操舵で波除堤先端の赤色点滅灯に向けて南進中、左舷前方に北西進して接近する反航船の灯火を視認した。</p> <p>船長は、反航船の進路を横切った後、波除堤北東端に接近してから左転して、反航船と左舷対左舷で通過しようと思い、反航船の灯火を見ながら左転の時機を見計らって左に舵を切った直後、衝撃を感じ、波除堤と衝突したことを知った。</p> <p>船長は、反航船の灯火をずっと見ていたので、波除堤先端にある赤色点滅灯の所在をよく確認せずに左転したと本事故後に思った。</p> |
| 分析          | 本船は、船長が、反航船に意識を向け、見張りを適切に行っていなかったことから、波除堤に向けて左転したことに気付かず、波除堤に衝突したものと考えられる。   |
| 原因          | 本事故は、夜間、船長が見張りを適切に行っていなかったため、本船が波除堤に衝突したものと考えられる。  |
| 参考          | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。<br>・常時適切な見張りを行うこと。  |